

12月のあいさつ

みなさん、明日から冬休みです。たった2週間とちょっとの短い期間ですが、冬休みにはクリスマスがあったりお正月があったりで、何かとウキウキした気分になる人も多いのではないのでしょうか。皆さんは12月の別の呼び方を知っていますか。そうです、師走ですね。師というのはお坊さんのことで、年末になると昔はそれぞれの家で法事をするので、お坊さんが忙しく家々を走り回っている様子を言ったものという説があるそうですが、詳しい由来は実はわかっていないそうです。なんにしろ、年末を迎えて、大掃除や新年の準備など、慌ただしい感じがするので、『師が走る』と書くとイメージがぴったりですね。

さて、師走が終われば新しい年が始まります。お正月の朝はいつもと変わらない朝のはずですが、何となく「新しくスタート」という気持ちになるのではないのでしょうか。新しい年が始まるということは、何かにチャレンジするきっかけとしては最適なタイミングだと思います。そういった意味で、冬休みは特別です。今年の反省と新たなチャレンジの準備をする時間として過ごしてくれたらとても嬉しく思います。

みなさん、「お好み焼きの千房」って知っていますか。昭和48年に大阪の千日前に店を出してから今では海外も含めて63店舗を構えるまでに成長した会社です。この会長さんの話を聞く機会がありました。今73歳くらいの方ですが、元気に今でも店に立つことがあるそうです。この会長さんは、中学卒業して16歳で乾物屋に丁稚奉公に出て、その後28歳で「千房」を開店し今にいたるそうですが、その間、昭和61年に40歳で大阪府立桃谷高校の通信制課程を卒業されたそうです。開店してからのいろいろな苦労話や経験したことをお話されましたが、今日はその中から一つ紹介したいと思います。会社で社員さんと話しするときによく使う言葉があるそうです。「できるやんか」という言葉です。

「やればできるやんか」頑張って結果を出したときにはもちろん、「君ならできるやんか」とその人のチャレンジする力、可能性を後押しするときにも使えます。自分自身にも使えますね。

今年を振り返って頑張った人は「やればできるやんか」と自分をほめてみましょう。まだできなかった人は、来年に向けて「自分だってできるやんか」とチャレンジする心を奮い立たせましょう。人間の脳はポジティブな言葉を話したり、聴くことでパワーアップするそうです。この冬休みにどんなことでもいいから目標を立てて、そして「できるやんか」をどんどん言葉に出してみてください。

1月の授業再開の時に、皆さんが生き生きとした表情であいさつしてくれることを期待しています。

成城高等学校 麻野